

中学生の想いを形に！

中学生が子ども議会で「まちづくりに自分たちの意見をもっと言いたい。でも、大人の一緒だとちょっと怖い。」との発言があり、中学生だけのワークショップを行いました。

☆中学校内でワークショップ

中学校と行政の方々の協働で、中学校の授業時間内にまちづくりワークショップをすることになりました。進め方はワールドカフェ形式としました。そこで、大人といっしょでも怖くないし、むしろ、子どもの意見を言ってほしいと大人は思っているということを伝えたいとの意図もありました。

☆だんだん活発に

2週にわたって開催しました。授業時間ですので、50分を2回。ここで、インプットと自由に意見を言ってもらうワークショップ。できれば、提案レベルにしたいとの想いがありました。



1週目の前に事前学習ということでインプットしてきてもらいました。行政の計画資料は、ちょっと難しいだろうなあとと思っていたのですが、担当部署の方が簡単な要約をつけて資料としてくださいました。限られた（限られ過ぎた）時間の中での策でした。その上で、中学生に、3つのテーマを提示し、どのテーマで話したいかの優先順位を考えてきてもらいました。

1回目はお互いに慣れないことやテーマのこともあり、固い雰囲気でした。一週はさんで2回目は、大人が1週目のふりかえりを活かしたこと、そして中学生も慣れてきたこともあったようで、活発な意見が出ました。

最後は、提案しやすいようにKP（紙芝居プレゼン）を応用したフォーマットに書き込んでもらい、シールを貼って共有しました。

☆無事に終了！

「空気があったまる」とよく言われますが、最後は本当にあったまつた空気になり、時間内に提案もできました。「できるだけ計画に反映したい」との担当部署の方のコメントも中学生は心強かったと思いました。

*福島県浪江町でのワークショップでした。地震・津波と原発事故で全町避難を余儀なくされた浪江町。大きく町のカタチを変えて、新しい町をつくっているんだなぁと感じました。その中で子どもたちが、自分事として意見を言いたい！と声を上げてくれたことが、大人はうれしかったことでしょう。子どもと大人の気持ちが一つになったワークショップだったなぁと思いました。そして、短時間で実現させるには、段取り、スキル、フォーマットが必要だと感じました。